

— 経営理念 —

ともに挑み ともに繋ぐ

常にお客様目線で上質な価値を創出する

— 行動指針 —

私たちは、全ての仲間と手を取り合い、
創出する喜びを分かち合います。

私たちは、失敗を恐れず、
常にチャレンジャーであり続けます。

私たちは、お客様と誠実に向き合い、
信頼される存在を目指します。

私たちは、こだわりと思いやりをもって、
心地良さの実現を追求します。

私たちは、法とその精神を守り、
安心・安全なものづくりを約束します。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月に開催

基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日

公告方法 電子公告
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告
できない場合は、日本経済新聞

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル)



Interim Business Report

第107期 中間報告書

平成29年4月1日～平成29年9月30日



To Our Shareholders

株主の皆さまへ

株主の皆さまには格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社第107期中間期（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の営業概況等につきご報告申し上げます。

平成29年12月

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境に改善が見られ、緩やかな回復基調を示したものの、世界経済の不確実性や金融資本市場の変動が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの関連する業界におきましては、自動車産業においては、国内は、普通車の新車効果や、輸出の増加により、生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。

海外では、米国が減産のなか、中国・アジア・欧州の需要増により、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。

住宅産業につきましては、雇用、所得の改善に加え、低金利ローンや政府による住宅取得支援策などにより住宅取得に対する関心が高まる傾向が見られました。

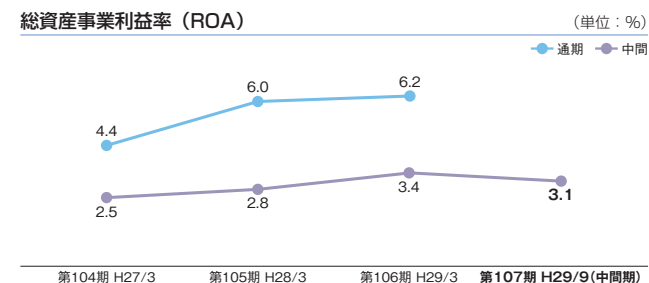
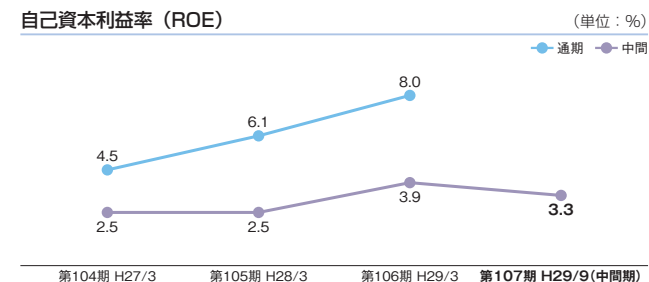
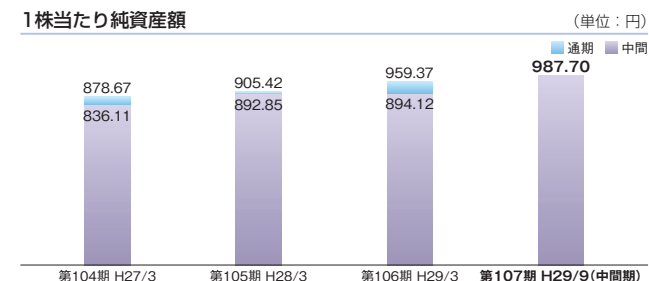
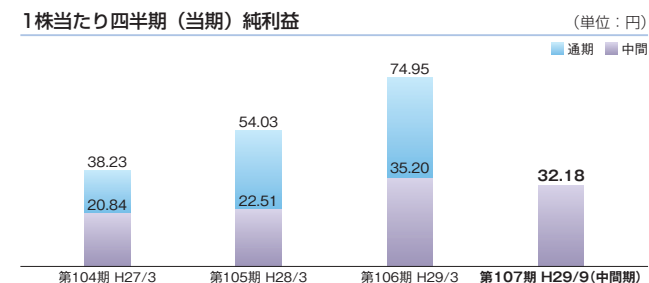
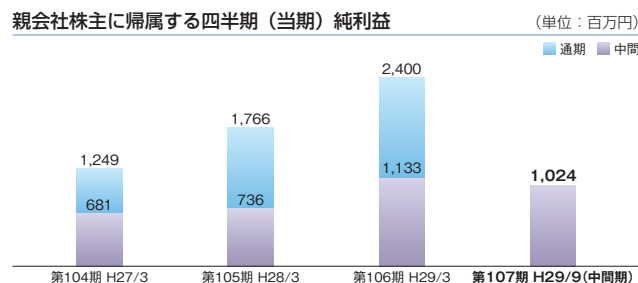
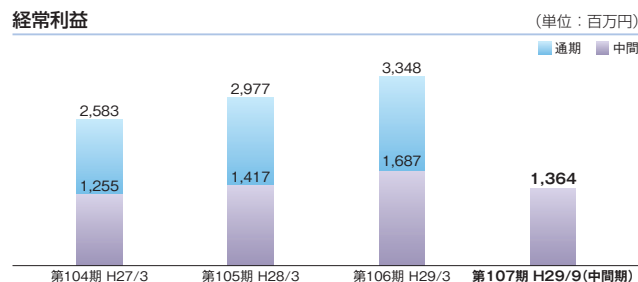
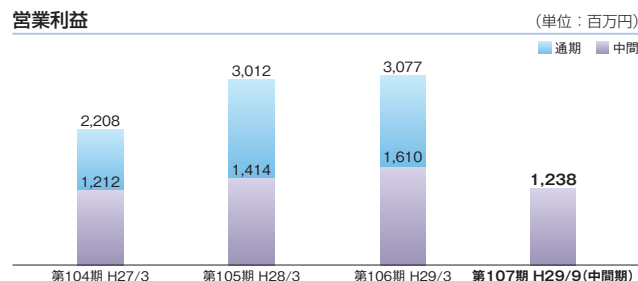
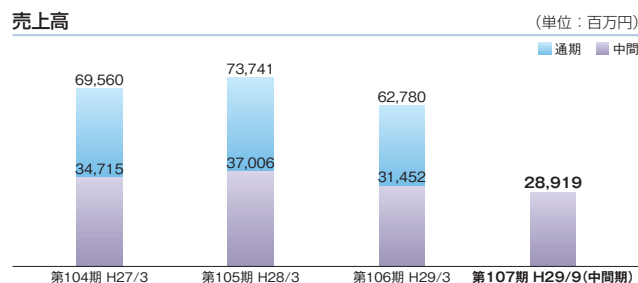
このような環境の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は289億19百万円（前年同期比8.1%減）となり、営業利益は12億38百万円（同23.1%減）、経常利益は13億64百万円（同19.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億24百万円（同9.6%減）となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **加藤 大輔**

Financial Highlights

連結財務ハイライト



Segment Review

(単位：百万円)

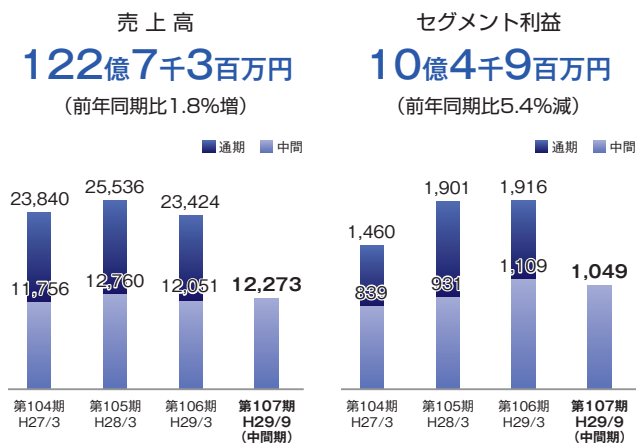
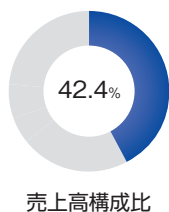
コーティング事業



主要分野

自動車内装分野、自動車外装分野、
自動車電装部品分野、
容器関連分野、携帯電話分野、
家電分野、ホビー分野、
農業資材分野

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）を取扱うコーティング部門におきましては、国内市場は前年並みに推移いたしました。この結果、売上高は122億73百万円（前年同期比1.8%増）となり、営業利益は10億49百万円（同5.4%減）となりました。



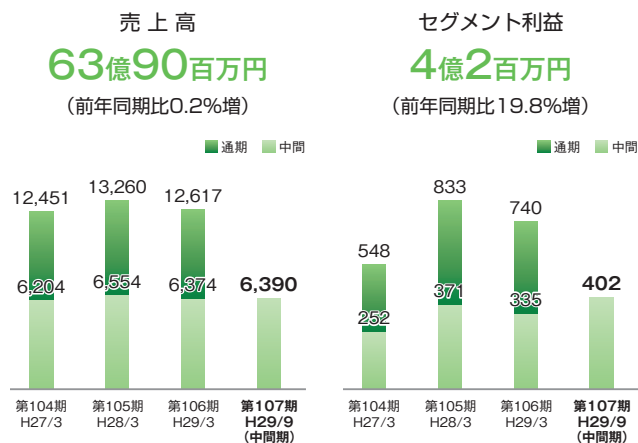
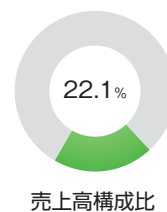
塗料事業



主要分野

外装建材分野、
内装建材分野、
エクステリア材分野、
住宅設備分野

建築用塗料を取扱う塗料部門におきましては、新築向け市場の塗料販売が振るわず、前年同期と比べ売上高は横這いとなりましたが、営業利益は増加いたしました。この結果、売上高は63億90百万円（同0.2%増）となり、営業利益は4億2百万円（同19.8%増）となりました。



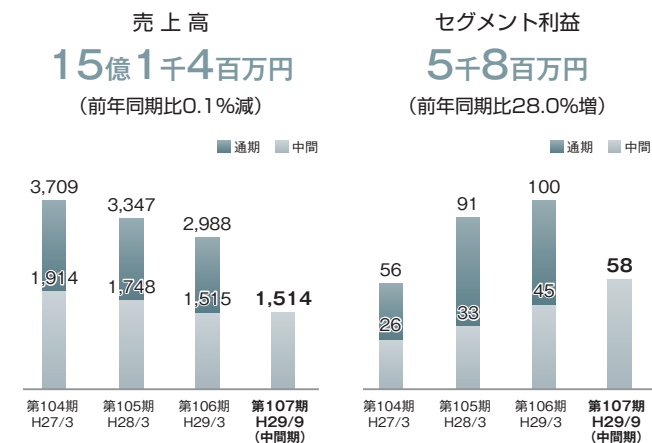
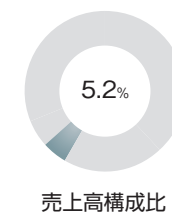
電子材料事業



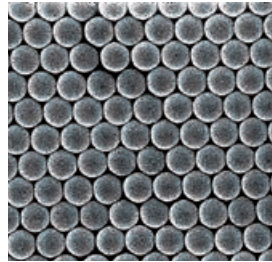
主要分野

通信機器分野、
表示体分野、
家電分野、
車載用電子機器分野、
OA機器分野

導電性ペースト材（『ドータイ』）などを取扱う電子材料部門におきましては、売上高はほぼ横ばいとなりましたが、新製品の寄与もあり営業利益は増加いたしました。この結果、売上高は15億14百万円（同0.1%減）となり、営業利益は58百万円（同28.0%増）となりました。



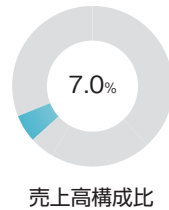
化成品事業



主要分野

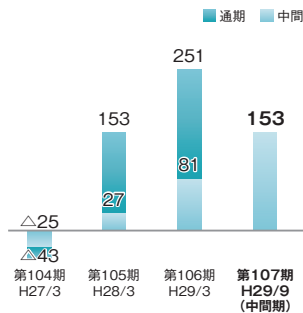
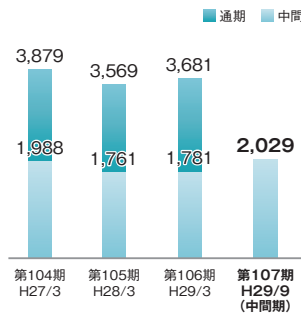
トナー用樹脂分野、
電荷制御剤分野、粘・接着剤分野、
ディスプレイデバイス分野、
メディカル材料分野、
電子部品関連分野

『アクリベース』の商品名で販売する樹脂ベースやトナー用レジ、メディカル材料などを取扱う化成品部門におきましては、粘着剤の売上が伸長するなど好調に推移いたしました。この結果、売上高は20億29百万円（同13.9%増）となり、営業利益は1億53百万円（同88.3%増）となりました。



売上高
20億2千9百万円
(前年同期比13.9%増)

セグメント利益
1億5千3百万円
(前年同期比88.3%増)



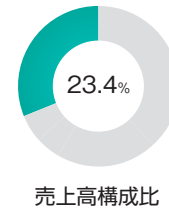
合成樹脂事業



主要分野

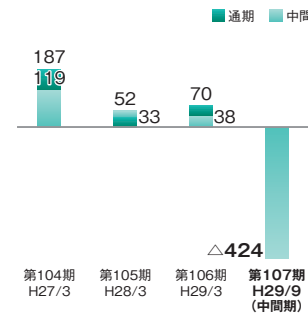
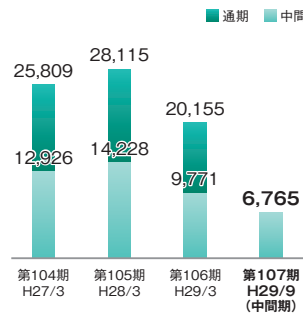
高機能光学材料分野、
工業用銘板分野、
産業資材分野

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、藤光樹脂株式会社において第1四半期に発生したATT株式会社における架空取引による貸倒引当金繰入額計上により、大幅な営業損失となりました。この結果、売上高は67億65百万円（同30.8%減）となり、営業損失は4億24百万円（前年同四半期は営業利益38百万円）となりました。



売上高
67億6千5百万円
(前年同期比30.8%減)

セグメント利益
△4億2千4百万円



会社概要 (平成29年9月30日現在)

会社名 藤倉化成株式会社
本店所在地 東京都板橋区蓮根三丁目20番7号
本社事務所 東京都港区芝公園二丁目6番15号
設立 昭和13年9月22日
資本金 53億5千2百万円
従業員数 連結 1,248名
単体 397名
連結子会社数 国内 4社 海外 15社
ホームページ <http://www.fkkasei.co.jp>

株式の状況 (平成29年9月30日現在)

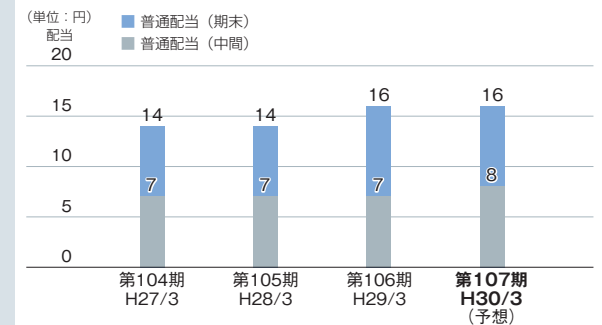
発行可能株式総数 84,000,000株
発行済株式の総数 32,716,878株
株主数 3,677名

配当について

平成30年3月期配当

中間配当 **8円** + 期末配当予想 **8円** = 年間 **16円**

【配当金推移】



(注) 平成30年3月期中間配当は今回の実績値で、期末配当は予想値です。